

第19回 令和7年5月13日（火）

「あいさつは人生の基本。これができるないと人間としてダメだ。」と言われますが…

小さい頃から家族や先生にこう言われたことが一度や二度はあると思います。

社会に出て、あいさつができないと、すぐ「あいつはダメな奴だ」とみられてしまうことがあるのは確かです。また気持ちよくあいさつできる人は相手の気持ちも明るくさせてくれます。

初対面の人でもまずあいさつすることで打ち解けることができますし、話しかけやすくなります。さらにあいさつに何でもよいのでもう一言加えるようにするとより人間関係は良くなります。

人間の悩みの90%は「人間関係」と言われているので、あいさつはその特効薬と言えます。

ただ一つ、あいさつのできない人は「人として失格」という考え方について私は違うと思います。

あいさつができるというのも心や身体が「健康」な証拠です。そして誰もがそうであるとは限りません。

ここではない学校で、授業時間中に廊下を掃除していると、遅刻した生徒とすれ違います。そのとき「おはよう」と声を掛けますが、わざとスマホに目を落として無視されることがたくさんありました。

もちろんそのときは寂しくなりますが、実は「あいさつ」できないようにしてしまったのも大人や社会だということに気が付きました。

他人から怖い思いや嫌な思いをさせられた子どもは、知らない大人に何の抵抗もなく心を許すことができません。

事実、廊下掃除で何回も会って、この人は大丈夫と思われてからは「校長先生、おはよう」と元気にあいさつしてくれるようになりました。心からのあいさつで、こちらもうれしくなります。

戦争が続く国の子どもたちは何もしていないのに大人から怖い思いをさせられています。きっと知らない人にあいさつできるようになるまでに何年もかかることでしょう。

リーダーになっていただきたいみなさんには、そんなことも覚えておいて、当たり前のことができないからダメとすぐに決めつけないようにしてほしいと思っています。